

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、うきは市内のヤングケアラーに関する実態を把握し、その解決に必要な支援策を検討することを目的としている。

2. 調査設計及び回収結果

調査の種類 ・ 調査対象	①児童生徒アンケート調査（小学生）： 市内小学校に在籍する5年生・6年生 500名 ②児童生徒アンケート調査（中学生）： 市内中学校に在籍する1年生～3年生 769名 ③学校アンケート調査： 市内小学校・中学校 9校
調査方法	①②児童生徒アンケート調査： ・各学校を通じて児童生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童生徒本人が回答 ・紙の調査票への記入後、各学校経由で回収 ③学校アンケート調査： ・各学校へ調査依頼文を配布し、各学校の担当者が回答 ・紙の調査票への記入後、市子育て支援係にて回収
調査項目	国が令和2・3年度に実施したヤングケアラー関連調査の調査項目を基本としつつ、本市独自項目の追加等を行った
回収数 ※カッコ内 有効回収率	①児童生徒アンケート調査（小学生） : 366人（73.2%） ②児童生徒アンケート調査（中学生） : 412人（53.6%） ③学校アンケート調査 : 9校（100.0%）
実施期間	①児童生徒アンケート調査（小学生） : 令和6年2月27日～令和6年3月8日 ②児童生徒アンケート調査（中学生） : 令和6年2月27日～令和6年3月8日 ③学校アンケート調査 : 令和6年3月27日～令和6年3月31日

3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計表の表側に使用している「学年別」「性別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- 属性別の分析等において、基数（調査数）が少ないものについては、その結果は参考程度に留め、分析コメントを省略する場合がある。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「参考資料 調査票」を参照のこと。